

中国の金利引き下げについて

2015年6月29日

6月27日(現地時間)、中国人民銀行は政策金利を0.25%引き下げ、6月28日から適用すると発表しました。これで同国の貸出基準金利は4.85%、預金基準金利は2.00%となりました。今回の政策金利引き下げは昨年11月、今年3月、5月に続き4回目となります。また、一部の銀行に対する預金準備率の0.5%引き下げも合わせて発表されました。

《金利引き下げ決定に至った経緯について》

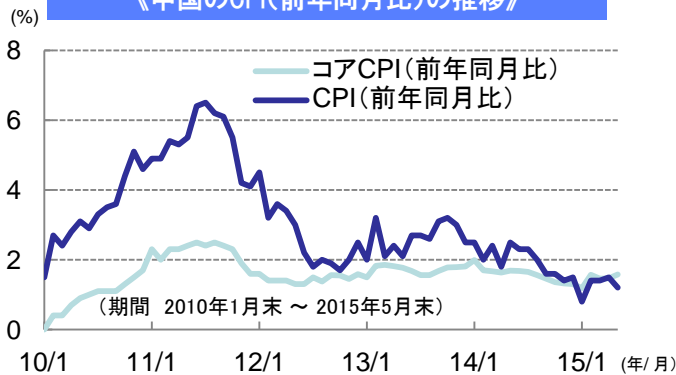
昨年来の金融緩和のなかで、今回の措置はややペースを速める形となりましたが、経済成長率7%という政策目標に対する政府の強い姿勢を打ち出すとともに、乱高下する株式市場の動揺を抑えたいとの狙いも込められているものと思われます。

- ①名目金利は過去最低水準に低下したものの、緩やかなデフレ圧力が加わる中で実質貸出金利の低下は限定的となっています。
- ②上海株式市場は、6月に入って高値を更新したものの、その後2週間では2割近く急落するなど、景気や金融政策などに対する思惑をめぐり高値波乱の展開となっています。

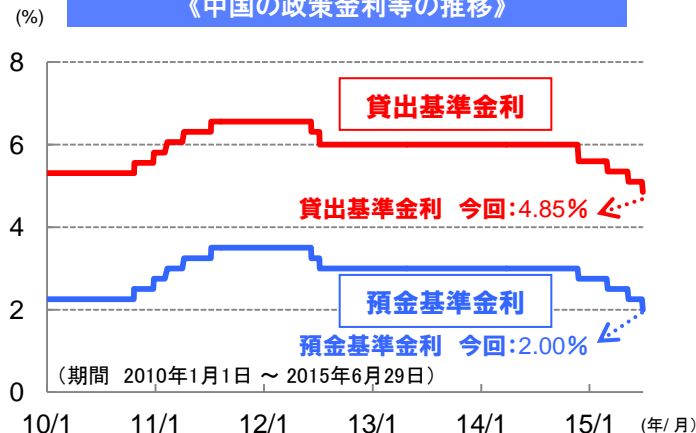
《今後の景気動向等について》

金融緩和を一段と強化することにより、企業や地方政府の債務負担や資金調達コストを軽減させるとともに、株式市場の動揺を抑えることが中国人民銀行の狙いとされています。ただし、金融緩和余地は今後も残されているものと見込まれ、景気や市場の動向次第では追加的な政策が発動されるものと思われます。

《中国のCPI(前年同月比)の推移》



《中国の政策金利等の推移》



《人民元の対円レートの推移》



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成

- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。
- 投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。